第８講・産業の発達と政治の変化

化政文化

文学	小説	「東海道中膝栗毛」（十返舎一九） 「南総里見八犬伝」（曲亭馬琴）
	俳諧	「蕪村七部集」（与謝蕪村） 「おらが春」（小林一茶） 狂歌・川柳
浮世絵	錦絵を創始（鈴木春信） 「ポッピンを吹く女」（喜多川歌麿） 「大谷鬼次」「市川鰕蔵」（東洲斎写楽） 「富嶽三十六景」（葛飾北斎） 「東海道五十三次」など（歌川（安藤）広重）	
国学	「古事記伝」（本居宣長） 「群書類従」（塙保己一）	
蘭学（洋学）	「解体新書」（杉田玄白・前野良沢ら） シーボルトの鳴滝塾	
地図・科学	「大日本沿海輿地全図」（伊能忠敬） 日本初の発電機や寒暖計（平賀源内）	
教育	寺子屋，藩校，郷校，私塾	
芸能	歌舞伎の芝居小屋，落語・講談の寄席，相撲の興行	
生活	庶民も物見遊山や湯治をかねた寺社参詣に出かける	

ポイント1　背景と特徴

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①　背景

18世紀後半に江戸の商工業が発達し，

経済・文化の中心が上方（大阪・京都）から江戸に移り始める

② 特徴

18世紀末～19世紀初めの11代将軍徳川家斉（いえなり）のころ（文化・文政期）

江戸 を中心に栄えた町人文化

ポイント2 文学・絵画

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 文学

小説：十返舎一九「東海道中膝栗毛」

曲亭（滝沢）馬琴「南総里見八犬伝」など

俳諧：与謝蕪村「蕪村七部集」

小林一茶「おらが春」

幕府の政治や庶民の生活を風刺する **狂歌** ・ **川柳** なども流行

② 絵画

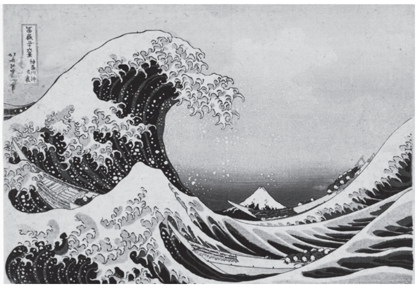
錦絵：18世紀後半に鈴木春信が始めたとされる多色刷りの版画

喜多川歌麿	「ポッピンを吹く女」（美人画）
東洲斎写楽	「大谷鬼次」「市川鰕蔵」（役者絵など）
葛飾北斎	「富嶽三十六景」
歌川（安藤）広重	「東海道五十三次」「名所江戸百景」

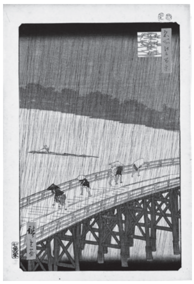
資料1 喜多川歌麿「ポッピンを吹く女」

資料2 東洲斎写楽「大谷鬼次」

資料3 葛飾北斎「富嶽三十六景」



資料4 歌川（安藤）広重「名所江戸百景・大はしあたけの夕立」



ポイント3 学問の発達など

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 学問

国学：仏教や儒教が伝わる前の**日本**の古来の精神を学ぶ学問
万葉集研究で有名な賀茂真淵の弟子で，
「古事記伝」を書いた**本居宣長**によって大成された
同じく賀茂真淵の弟子である塙保己一は
和学講談所で史料を「群書類従」にまとめた
平田篤胤の復古神道は幕末の尊王攘夷運動に影響を与える

蘭学（洋学）：**オランダ**語でヨーロッパの近代的な技術・文化を学ぶ学問
杉田玄白・前野良沢らが「ターヘル=アナトミア」を
「**解体新書**」として翻訳・出版

長崎の鳴滝塾では**シーボルト**が蘭学・医学を教える

資料5「解体新書」

② 地図・科学

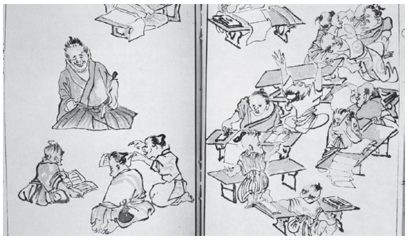
伊能忠敬：全国を測量し「大日本沿海輿地全図」という日本地図を作る
平賀源内：日本初の発電機（エレキテル）や寒暖計を作る

③ 教育の広がり

寺子屋	町人や農民の子どもが 読み・書き・そろばんなどを学ぶ	全国各地に広く存在
藩校	藩が武士の子弟を教育する	明倫館（長州藩） 弘道館（水戸藩）
郷校	藩が武士の子弟に限らず教育を行う	閑谷学校（岡山藩）
私塾	私的な教育機関	緒方洪庵の適塾（大阪） 吉田松陰の松下村塾（長州藩）

幕府の教育は昌平坂学問所で朱子学を中心に行われた

資料6 寺子屋



④ 芸能

歌舞伎の芝居小屋，落語・講談の＿寄席＿，相撲の興行

⑤ 生活

庶民も物見遊山や湯治をかねた寺社参詣に出かける

伊勢神宮（いせじんぐう）　（三重県）

金刀比羅宮（ことひらぐう）　（香川県）

善光寺　（長野県）

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 18世紀末～19世紀初めのころまで，江戸を中心に栄えた町人文化を何というか。　化政文化

(2) 「東海道五十三次」で東海道の宿場町の風景や風俗を描いた人物は誰か。　歌川（安藤）広重

(3) 前野良沢らとともに「解体新書」を出版した人物は誰か。　杉田玄白

(4) 町人や農民の子どもが読み・書き・そろばんなどの実用的な知識を学んだ場所を何というか。　寺子屋

(5) 本居宣長が大成した，仏教や儒教が伝わる前の日本古来の精神を学ぶ学問を何というか。　国学